

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	成人保健指導事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局	健康 部	健康医療推進 課	評価責任者(課長名)	河盛

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	スポーツと健康づくりの推進	無
	2	事業開始年度	平成 14 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	健康増進法			
	4	関連計画	堺市食育推進計画(第3次)、堺市歯科口腔保健推進計画 他			
5	事業実施の経緯	本市では、健康寿命の延伸をめざして、平成14年に堺市健康増進計画「健康さかい21」を策定し、市民主体の健康づくりに取り組んできた。平成31年3月には、「健康さかい21(第2次)2019-2023計画」を策定し、市民主体の健康づくりを総合的に推進している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	生活習慣病予防のための科学的根拠や健康づくりのための情報等の提供し、市民の健康の保持増進を図る。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	各保健センターが、所内や地域会館等で、健康教育や健康相談の実施するほか、療養上の保健指導が必要な方やその家族に対して、保健師等が訪問して必要な指導を行う。市民が健(検)診や診療等の結果の記録やその他健康の保持のために必要な情報を記録し、自らの健康管理と適切な医療に資するよう健康手帳を交付する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					

Ⅲ. 投入量

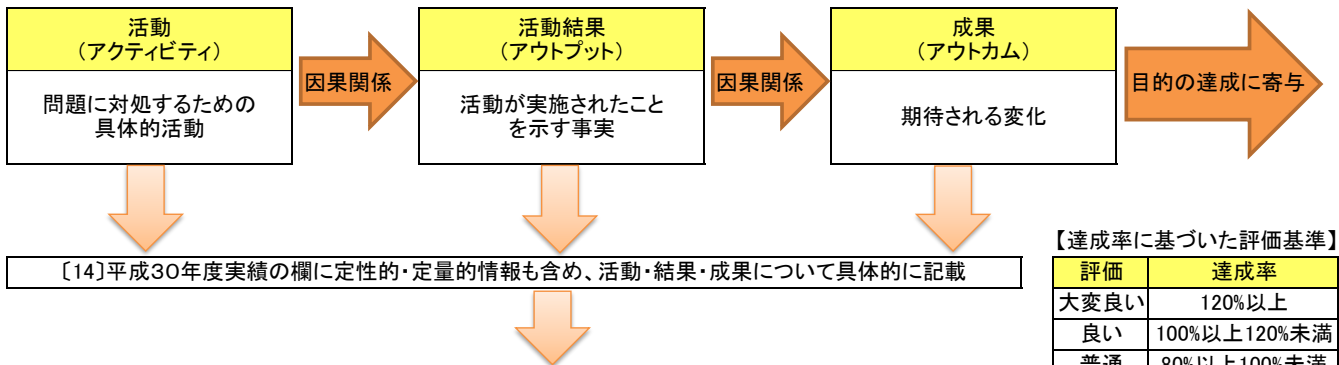
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11	事業費 (a)	千円	4,149	5,293	6,166	6,990
	主な事業費内訳	報酬・報償費	千円	2,019	2,808	2,588	2,707
		需用費	千円	1,691	2,205	2,622	3,273
		役員費 他	千円	439	280	957	1,010
	財源内訳	国・府支出金	千円	1,207	862	1,442	1,856
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
	12	人件費 (b)	千円	2,460	2,460	2,630	2,610
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	6,609	7,753	8,796	9,600

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	成人保健指導事業	シート番号	11-198
-------	----------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>市民が健(検)診や診療等の結果の記録やその他健康の保持のために必要な情報を記録し、自らの健康管理と適切な医療に資するよう健康手帳を作成し、40歳の市民を対象に配布した。 また、健康づくりに関するテーマで市民向けの健康教育を817回実施した。 健康相談については、様々な機会を捉え、516回実施した。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		健康教育開催回数	回	目標値	500	500	850	850
				実績値	440	829	817	
				達成率	88%	166%	96%	
		評価	普通	大変良い	普通			
	算出方法・設定根拠など		保健師等が実施する健康教育の実施回数。					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		健康相談の実施回数	回	目標値	600	600	600	600
				実績値	562	537	516	
				達成率	94%	90%	86%	
		評価	普通	普通	普通			
	算出方法・設定根拠など		保健師等が実施する健康相談の実施回数。					

業績の分析

	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
17	<p>保健センター事業だけではなく、関係各課と連携したことで、より多くの市民を対象とした健康教育・健康相談の実施となった。 特に、全保健センターでがん予防につながる生活習慣の改善や健(検)診の受診などをテーマとしたことが主な要因と考える。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。